

計画策定に向けた基礎調査の実施方針（案）

※本資料では、白井市障害者計画を「**者計画**」、白井市 障害福祉計画・障害児福祉計画を「**福祉計画**」と略記します。

I 調査目的

(1) 者計画の基本目標を実現するために、取り組むべき課題を明らかにする。

(2) 福祉計画の策定に当たり、サービス利用量の推移を把握するだけでは把握できないニーズの変化等を読み取る。

※課題の捉え方

（者計画・福祉計画の「目標像（キャッチフレーズ）」）

障がいのある人もない人も人格と個性が尊重され、ともに生き、ともに参加する地域づくり

⇒→白井市で生活していくうえで、

A→障がいの種類にかかわらず、障がいのある人に広く共有される課題を把握。

B→特定の障がいのある人に向けて、特に取組が必要となる課題を把握。

C→障がいのある人が有する課題のうち、障がい者施策と障がい者以外の施策の「複合的な」課題を把握。

II 調査の枠組み

1 アンケート調査

(1) 調査対象・内容

- 障がい当事者（各障害者手帳所持者）と、障害者手帳を所持しない市民を対象とする。
- 今回、新たに市内の中学校に通う中学2年生を対象に、障害者手帳を所持しない市民の一部の項目を共有したアンケートを行う予定。

※ 調査対象者数：身体障がい者 1,686 人／知的障がい者 473 人／精神障がい者 563 人／障がい児通所支援支給決定児 388 人（合計約 3,110 人）、ここから 2,000 人抽出して調査を行う

※手帳を所持しない市民（無作為抽出） 500 人、市内中学生 654 人

- 障がい当事者への質問は、上記 I の A～C を踏まえた分析を行えるよう、障がい種類によって質問項目を大きく変えないこととする。

ただし、特定の障がいについてのみ必要となる一部の質問や様式上の配慮等のため、調査票は障がい種類ごと（身体／知的／精神／障がい児通所支援支給決定児／手帳を所持しない市民）に作成する。

※ 難病患者は、県のリストが利用できないため独立した調査票は作成しないが、一定の結果分析ができるよう、各調査票において難病認定の有無、病名等の質問を設定。

- 調査目的（1）に係る質問は、障がい当事者、手帳を所持しない市民（中学生）ともに、者計画の基本目標に沿って設定する。

調査目的（2）に係る福祉計画についての質問は、当事者のみを対象とする。

※対象者ごとの質問分野

対象者	調査目的（１）			調査目的（２）
	障がい者計画の基本目標			障がい福祉サービス・障がい児通所支援へのニーズ
	地域での自立生活への支援の推進	社会参加の支援・促進	快適で人にやさしいまちづくりの推進	
障がい当事者 （身体・知的・精神・障がい児通所支援支給決定児）	○	○	○	○
手帳を所持しない市民 （中学生含む）	○	○	○	×

●個々の質問は、本委員会での審議のほか、現行計画の達成状況、国・県等の施策、最近の社会動向、前回調査の質問項目、地域自立支援協議会での協議内容等を踏まえ、専門調査機関の意見を加味して作成する。

※障がい福祉の制度、用語、動向等について特に高い知識や関心を有しない人からも実感のある回答が得られるよう、回答者自身の生活における困りごと等、率直な心情や考えを聞ける質問を主体とするよう考慮する。

（２）調査方法

- 郵送により実施（対象者に調査票と返信用封筒を送付）、なお、Webでの回答も出来るようにする。また、中学生は学校を経由したWeb調査を行う。
- 本人の回答が難しい場合は、介護者等の代筆を可とする。ただし、介護者等がいない方や、介護者等に回答内容を知られたくない場合などを考慮し、QRコードを読み取り、Webでの回答も可能とする。
- 調査票の仕様は、過去に行った調査に準じ、A4版単色、表紙含め16ページ程度とする。また、回答者が可能な限り容易に回答できるよう、用語、用字、フォント等に配慮する。なお、知的障がい者用調査票にはルビを付す。
- 市の障がい者施策のうち、比較的最近開始した障がいサービスを記載したチラシを同封する。（郵送費の有効活用）

（３）調査予定時期

令和6年12月～令和7年1月

（４）集計・考察

調査終了後速やかに集計を行い、調査目的・観点を踏まえた考察を行う。

(5) 調査項目

① 障がい者アンケート 一覧 (前回調査との比較)

番号	設問	障害者計画 (令和2年)			障害福祉計画 (令和4年)			令和6年度調査 (今回)			備考
		身体	知的	精神	身体	知的	精神	身体	知的	精神	
1	アンケートの記入者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
2	年齢・性別	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
3	身体障害者手帳の有無		5	8		4	7				
4	身体障害者手帳等級	3			3			3			
5	障がい支援区分	3①	6	9	5	6	5	4			
6	身体障がいの種類・部位	3②	5①	8①	4	5	7①	5			
7	身体障がいの発生年齢	4						6			
8	療養手帳の有無	5	3	7	6	3	8		3		
9	精神障害者保健福祉手帳の有無	6	4	3							
10	他の障がい(発達障がい等含む)難病の有無							7	4	7	他の障がいの有無は1つにまとめる
11	療育手帳の程度								5		
12	介護保険の要支援・要介護認定	7	7	10	8	8	9	8	6	8	
13	精神障害者保健福祉手帳の等級				7	7	3			3	
14	精神障がいの種類			4			4			4	
15	はじめて精神科・神経科で診療を受けた年齢			5			14			5	
16	「自立支援医療精神通院制度」の利用状況			6			6			6	
17	身体障害者手帳、療育手帳の有無										
18	サービス利用の有無・受けている介護サービスの種類				8①②	8①②	9①②				今回のアンケートでは細かいサービスの利用は聞かなくても良いのではないかと(基本過去の実績で対応できると考えられる)
19	今後、利用を増やしたいサービス							9	7	9	
20	難病(特定疾患)認定の状況	8	8	11	9	9					
21	難病の病名	8①	8①	11①							
22	難病になった年齢										
23	発達障がい・高次脳機能障がいの診断状況	9、10	9、10		10、11	10、11					
24	知的障がい・精神障がいの診断状況										
25	医療的ケア	11			12、12①	12、12①		10	8	10	
26	一緒に暮らしている人	12	11	12				11	9	11	
27	現在の住まい	13	12	13	13	13	10、10①	12	10	12	
28	増築、改造の有無	14									
29	増築、改造したい場所	15						13			建物は今後の意向だけで良いのではないかと
30	将来の生活について	16	13	14	14	14	11	14	11	13	
31	賃貸等で住宅を借りられなかったことがあるか							15	12	14	障がい者が賃貸住宅を借りられない問題が想定されるため、新設
32	借りられなかった理由							15①	12①	14①	
33	地域で生活するために必要な支援	17	14	15	15	15	12	16	13	15	
34	日常生活で出来ること	18	15	16							
35	身の回りの支援を誰がやっているか	19	16	17	16	16	13	17	14	16	
36	主に身の回りの介助者	19①	16①	17①	16①	16①	13①				
37	主に身の回りの介助者の年齢	19②	16②	17②	16②	16②	13②	17①	14①	16①	
38	主に身の回りの介助者の健康状態	19③	16③	17③				17②	14②	16②	
39	主に身の回りの介助者の問題	19④	16④	17④	16③	16③	13③	17③	14③	16③	
40	普段の活動	20	17	18				18	15	17	
41	現在の仕事	21	18					19	16	18	
42	仕事での悩みや不安	22	19	19				20	17	19	
43	収入を得られる仕事の有無	23	20	20、21				21	18	20	
44	今後の就労意向	24	21	22				22	19	21	
45	就労支援として必要なこと	25	22	23				23	20	22	
46	日常の外出頻度	26	23	24				24	21	23	
47	外出時の交通手段	26①	23①②	24①②	17、18	17、18	15、16	24①	21①	23①	

番号	設問	障害者計画 (令和2年)			障害福祉計画 (令和4年)			令和6年度調査 (今回)			備考
		身体	知的	精神	身体	知的	精神	身体	知的	精神	
48	(自動車と回答した方のみ) 車で移動する理由							24②	21②	23②	
49	車の移動で困ること							24③	21③	23③	
50	今後の意向	27	24	25				25	22	24	
51	活動を行わない理由	28	25	26				26	23	25	
52	生活で困っていること	29	26	27				27	24	26	
53	あなたは、スポーツや運動(体を動かすこと)をしていますか							28	25	27	スポーツの質問の新設を提案
54	現在、あなたがスポーツや運動をしていない理由をお答えください(○はいくつでも)。							28①	25①	27①	
55	差別や嫌な思いの有無	30	27	28				29	26	28	
56	どのような場所でそういう思いをしたか	30①	27①	28①				29①	26①	28①	
57	障がいのあることが原因での扱いの経験	31	27②	28②				30	27	29	
58	「成年後見制度」の有無	32	28、29	29、30				31	28	30	
59	「合理的配慮」を知っているか	33	30	31				32	29	31	
60	ひとりで避難できるかどうか	34	31	32				33	30	32	
61	避難の手助けをする人がいるかどうか	34①	31①	32①				33①	30①	32①	
62	その人はどのような人か	34②	31②	32②							災害関係は、質問を絞ったかどうか
63	地震や災害などで不安を感じるか	35	32	33							
64	その理由	35①	32①	33①							
65	市の「災害時避難行動要支援者制度」を知っているか	36						34	31	33	
66	障がい者に対するサービスや施策についての情報の入手先	37	33	34	20、21	20、21	18、19	35	32	34	
67	障がい者に対するサービスや施策についての情報の改善点	38	35	35							情報の入手先だけで良いのはないか
68	情報提供を希望する媒体は何か							36	33	35	
69	福祉サービスで困っていること	39	34	36	22、22①②、23	22、22①②、23	20、20①②、21	37	34	36	
70	相談する場所の有無	40	36	37				38	35	37	
71	誰に相談するか	40①	36①	37①				38①	35①	37①	
72	相談しない理由は何か	40②	36②	37②				38②	35②	37②	
73	基幹相談支援センターの周知度							39	36	38	すでに設定されている場合には、周知度の把握、あるいは基幹相談支援センターの情報提供でも良い
74	力を入れてほしい施策	41	37	38				40	37	39	
75	施策の周知度	42	38	39				41	38	40	
76	18歳未満の方のヤングケアラーの有無							42	39	41	ヤングケアラー関係の質問を追加
77	ヤングケアラーの可能性のある方について、頻度等							43	40	42	
78	新型コロナウィルスの影響				19	19	17				コロナの質問はもう不要ではないか
79	障がい福祉サービスを受けることで生活の質があがったと思うが							44	41	43	成果指標を想定した質問を追加
80	自由意見	43	39	40	24	24	22	45	42	44	

② 障がい者アンケート 新設項目

番号	設問	新設・調整の理由
10	他の障がい(発達障がい等含む)難病の有無	他の障がいの有無は1つにまとめた聞き方に変更した。
18	サービス利用の有無・受けている介護サービスの種類	今回のアンケートでは細かいサービスの利用は聞かなくても良いのではないかと(基本過去の実績で対応できると考えられる)
19	今後、利用を増やしたいサービス	今回のアンケートは、障害福祉計画の基礎調査も兼ねるため、利用を増やしたいサービスを聞く設問を新設(全部の質問を細かく聞くと、設問が多くなるため、集約)
31	賃貸等で住宅を借りられなかったことがあるか	障がい者が賃貸住宅を借りられない現状があるかどうかの把握を行いたい。
32	借りられなかった理由	
53	あなたは、スポーツや運動(体を動かすこと)をしていますか	スポーツの質問の新設を提案(障がい者のスポーツの環境は十分でないことが想定されるため)
54	現在、あなたがスポーツや運動をしていない理由をお答えください	
68	情報提供を希望する媒体は何か	どのような情報媒体での情報提供を希望するかを把握する
73	基幹相談支援センターの周知度	2025年度から開設予定の基幹相談支援センターの周知を目的とする
76	18歳未満の方のヤングケアラーの有無	ヤングケアラー関係の質問を追加することで、実態把握を行う、なお、「ヤングケアラー」という単語を使うかどうかは要検討。
77	ヤングケアラーの可能性のある方について、頻度等	
79	障がい福祉サービスを受けることで生活の質があがったと思うが	成果指標を想定した質問を追加、障がい福祉サービスを受けることで、生活の質の向上をたずねることで、アウトカム指標とすることを目指す

③ 障がい児アンケート 一覧（前回調査との比較）

番号	設問	障害福祉計画 (令和4年)	令和6年度調査 (今回)	備考
1	アンケートの記入者	1	1	
2	年齢・性別	2	2	
3	身体障害者手帳の有無・等級	3	3	
4	身体障がいの種類・部位	3①	3①	
5	療養手帳の有無	4	4	
6	精神障害者保健福祉手帳の有無	5	5	
7	難病(特定疾患)認定の状況	6	6	
8	発達障がいの有無	7	7	
9	お子さんの支援が必要な項目	8	8	
10	医療的ケアの有無	9	9	
11	医療的ケアの内容	9①	9①	
12	医療的ケアが利用できない施設等	9②	9②	
13	医療的ケアをしている人はどなたですか		9③	セルフでの医療ケアの状況の有無を把握します。
14	外出時の交通手段	10		
15	外出時の交通手段で困ること	11	10	
16	車で移動する理由		11	障がい者への質問と同様の内容を追加します。
17	車の移動で困ること		11①	
18	一緒に暮らす人	12	12	
19	保護者の就労状況	13	13	
20	勤務時にどこで過ごすか	13①	13①	
21	就労する上で困っていること	14	14	
22	身の回りの支援を誰がやっているか	15	15	
23	主に身の回りの介助者	15①	15①	
24	主に身の回りの介助者の年齢	15②	15②	
25	介助者で心配な点	15③	15③	
26	家族が支援を学ぶ必要性	16		
27	家族が関わりを持つ場に参加の必要性	16①		
28	子育てや発達の相談先	17	16	
29	新型コロナウイルスの影響	18		
30	代替支援の必要性	19		
31	療育施設に通う年数	20		今回は、削除して良いと判断した設問。(療育施設の利用は市では実績値を把握できるため)
32	療育施設に通う数	21		
33	療育施設への1月あたりの支払い	22		
34	療育をうけようと思ったきっかけ	23		
35	療育施設や行政に充実を求めること	24	17	
36	サービスの利用状況	25.26、28.29.30		今回、18の今後、利用を増やしたいサービスを聞くことで対応
37	利用したいけど、利用できていないサービス	27		
38	今後、利用を増やしたいサービス		18	
39	18歳未満の方のヤングケアラーの有無		19	
40	ヤングケアラーの可能性のある方について、頻度等		19①	
41	平日の日中、何をしているか		20	
42	通園や通学で困っていること		21	障がい者への質問と同様の内容を追加します。
43	学校の授業以外でスポーツや運動の有無		22	
44	差別や嫌な思いの有無		23	
45	どのような場所でそういう思いをしたか		23①	
46	障がいのあることが原因での扱いの経験		24	
47	「合理的配慮」を知っているか		25	
48	障がい者に対するサービスや施策についての情報の入手先	20、21	26	
49	情報提供を希望する媒体は何か		27	障がい者への質問と同様の内容を追加
50	福祉サービスで困っていること		28	
51	障がい福祉サービスを受けることで生活の質があがったと思うが		29	成果指標を想定した質問を追加
52	自由意見	24	30	

④ 一般市民

	設問	令和2年度調査	今回調査	備考
1	性別	1	1	
2	年齢	1	1	
3	職業	2	2	
4	白井市に住んでいる期間	3	3	
5	障がいのある人とふれあう機会	4	4	
6	障がいのある人に対する意識	5		
7	地域社会の中で、障がいのある人に対する意識等に、特別なへだたりの有無	6		削除を提案
8	「ある」のみ特別なへだたりが生まれる主な理由	6①		
9	あなたは、障がいのある人が街なかなどで実際に困っているのを見かけたときの行動	7	5	
10	障がいのある人は障がいのある人への対応を学んだ経験	8	6	
11	障がいのある人の「自立生活」「社会参加」「人にやさしい町づくり」を進める上で必要なこと(自由記載)	9		削除を提案
12	障がいのある人と一緒に活動した経験がありますか(学校、職場、地域等)		7	障がいのある人と一緒に活動した経験の有無を聞いたかどうか
13	それはどのような場所ですか		7①	
14	地域社会の中に障がいのある人への差別・偏見の有無	10	8	
15	数年、社会の中で障がいのある人に対する理解は深まっていると思うか	11	9	
16	障がいのある人が受ける教育や学校教育において、どこを充実させるべきか	12		削除でも良いのではないかと
16	障がいのある人が就労するためには、どのような条件が整えばよいと思うか	13	10	
17	障がいのある人となない人がお互いに理解し合い、共に生きる社会をつくっていくために必要なこと	14	11	
18	将来において自分や家族が障がいのある状態になることがあり得ると思うか	15		削除を提案
19	「ボランティア活動」への関心の有無	16	12	
20	障がいのある人に対するボランティア活動に参加した経験の有無	17	13	
21	障がいのある人に対するボランティア活動をしたいか	18	14	
22	行いたい活動	18①	14①	
23	ボランティア活動に参加しようとした際に、困ること	18②	14②	
24	次のようなことばを知っていますか	19	15	障害者権利条約は加筆したい
25	以下に示す事実や施設、団体等のうちどれを知っていましたか	20		削除を提案
26	市内の公共施設などを、障がいのある人等が利用しやすいようにするために、特に必要だと思うこと	21		削除を提案
27	障がいのある人のために、特にどのような施策に力を入れる必要があること	22	16	
28	「障害者差別解消法」で規定されている「合理的配慮」を知っているかどうか	23	17	
29	どのような場面で合理的配慮が必要だと思うか	24	18	
30	障がいに関するマーク等をご存じですか (画像で、ヘルプカード等の絵を用意して、周知もかねて知っているかどうか質問する)		19	画像で、ヘルプカード等の絵を用意して、周知もかねて知っているかどうか質問する
31	自由意見	25	20	

⑤ 中学生

	設問	中学生調査	参考 一般市民 調査項目	備考
1	障がいのある人とふれあう機会	1	4	
2	あなたは、障がいのある人が街なかなどで実際に困っているのを見かけたときの行動	2	5	
3	学校で障がいのある人はいますか	3		
4	障がいのある人と一緒に活動した経験がありますか(学校、地域等)	4	7	障がいのある人と一緒に活動した経験の有無を聞いたかどうか
5	それはどのような場所ですか	4①	7①	
6	地域社会の中に障がいのある人への差別・偏見の有無	5	8	
7	数年、社会の中で障がいのある人に対する理解は深まっていると思うか	6	9	
8	次のようなことばを知っていますか	7	19	障害者権利条約を加筆
9	市内の公共施設などを、障がいのある人等が利用しやすいようにするために、特に必要だと思うこと	8		
10	障がいに関するマーク等をご存じですか (画像で、ヘルプカード等の絵を用意して、周知もかねて知っているかどうか質問する)	9	19	
11	自由意見	10	24	

2 関係団体等ヒアリング調査

(1) 調査対象・内容

- 生活・介護・支援等の状況やご意見を直接伺い、アンケート調査では把握が難しい定性的な情報を取得する。

- 対象は、市内の障がい者関係団体及び事業者とする。

※ 参考：前回（R5.2）実施時の対象団体等

白井市視覚障害者白井あゆみの会／白井市身体障害者友の会「にこにこ」／白井市聴覚障害者協会（友の会）／いちごの会／手をつなぐ育成会／しらゆりの会
事業者は 23 事業者（ヒアリングシートでの意見聴取を含む）

(2) 調査方法

- 対象団体等ごとに日時を設定し個別に実施。
- 事前にご記入いただいたヒアリングシートに沿って、市職員又は補助者が意見や見解を聞き取る。なお、事業者は、ヒアリングシートのみでの意見聴取を含む。

(3) 調査予定時期

令和 7 年 2 月～ 4 月

(4) 取りまとめ

調査終了後速やかに、対象団体等ごとに要点を取りまとめる。

(5) 調査項目

① 団体

	令和 4 年度調査項目	今回調査項目（案）
1		主な活動内容と最近の活動状況
2	活動の目的や最近の活動状況、日常の団体活動における困りごとや課題等	日常の団体活動における困りごとや課題等
3	要望や苦情が多いサービス、重要と考えられるサービス	要望や苦情が多いサービス、重要と考えられるサービス
4	今後、利用希望が増えると考えられるサービス	上記に統合
5	サービスを利用しやすくするための方法	障がい者が地域で生活をしていくために必要なこと（新設）
6	新型コロナウイルスの影響は何があるか	新型コロナウイルスの影響は何があるか
7	市の相談支援体制、基幹相談支援センターの設置について	市の相談支援体制や、 <u>障がい者施策だけでは対応できない課題</u> としてどのようなものがあるのか
8	その他	その他

② 事業者

	令和 4 年度調査項目	今回調査項目（案）
1	特に多い要望や苦情	
2	利用者のニーズは高いのに、供給不足等で利用ができないサービスはあるか	利用者のニーズは高いのに、供給不足等で利用ができないサービス、今後需要が伸びるサービスはあるか
3	今後、需要と供給に大きな差が出る差サービスはあるか	(2) に統合
4		障がい福祉サービスと、他の分野のサービスの狭間で困ることがあるか
5	サービス提供事業者、相談支援事業所、行政、他機関との連携に支障が生じるのはどのような時か	サービス提供事業者、相談支援事業所、行政、他機関との連携に支障が生じるのはどのような時か
6	新型コロナウイルスの影響は何があるか	新型コロナウイルスの影響は何があるか
7	市の相談支援体制、基幹相談支援センターの設置について	市の相談支援体制、2025 年 4 月開設予定の基幹相談支援センターについて
8	市の障がい者計画や、行政全般に関わる意見	市の障がい者計画や、行政全般に関わる意見